

「野外クラフト」  
「キャンドルサービス」

## 5 昭和52年度福島県学級生大会

### (1) 趣 旨

県内の青年学級生が相互の交歓を図るとともに、青年学級における学習のすすめ方について研究協義する。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和52年11月24日～27日 3泊4日
- ② 会 場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 ○福島県内の青年学級生及び青年教室等の代表者  
○社会教育行政担当者、青年学級担当者  
70名

### (3) 講 師

日本民俗学会会員 福島市文化財調査員 秋山政一  
新潟大学教育学部助教授 吉川弘

### (4) 助 言 者

福島県教育庁社会教育課長 佐藤利三郎  
福島県教育庁社会教育課 社会教育主事 金田浩一  
社会教育主事 七島征  
福島県教育庁相双教育事務所 社会教育主事 中野由孝  
福島県教育庁いわき教育事務所 社会教育主事 鈴木孝  
保原町中央公民館事業係長 松本洋二  
鏡石町公民館主事 円谷光行  
いわき市夏井公民館長 長瀬正康  
福島県海浜青年の家 職員 員

### (5) 研修内容

- ① 講 演 「一つの歩み」
- ② 講 義 「青年学級の効果的な学習のすすめ方」
- ③ 討 議 「青年学級の効果的な学習のすすめ方」  
○3部会 ○担当者部会
- ④ スポーツ・レクリエーション  
○海浜スポーツ大会  
○フォークダンス、ゲーム  
○キャンドルサービス

## 6 勤労青年のつどい

### (1) 趣 旨

県内に働く青年が共同宿泊生活をとおして交歓を図り、友情の輪をひろげ社会人としての自覚とグループ活動参加の意欲を高める。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和53年1月20日～22日 2泊3日
- ② 会 場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 県内の勤労青年 41名

### (3) 講 師

福島県海浜青年の家所長 遠藤栄  
日本レクリエーション協会上級指導員 国馬善郎

東北大学教養学部教授 黒田正典  
福島県海浜青年の家 職員 員

### (4) 発 表 者

保原町「ともしび会」会長 小笠原洋子  
小高町体育レクリエーション研究会会長 制野耕一

### (5) 研修内容

- ① 講 話 「勤労青年と生きがい」
- ② 講 義 「地域・職場におけるレクリエーション活動」
- ③ 講 演 「集団と個人」
- ④ 事例発表・討議  
「地域・職場におけるグループ活動について」
- ⑤ 実 技 「交歓のつどい」  
「フォークダンス」  
「キャンドルサービス」

## 7 高校生就職者のつどい

### (1) 趣 旨

今年度高等学校を卒業し、就職を予定している生徒を対象に、共同宿泊研修を通して新しい社会人、職業人としての自覚と誇りを持たせるとともに相互の交歓を図り、社会参加への意欲を高めることをねらいとする。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和53年2月22日～24日 2泊3日
- ② 会 場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 昭和53年3月高等学校を卒業して県内外に就職するもの。(自営者も含む) 99名

### (3) 講 師

株式会社粉又取締役社長 渡辺又夫  
福島県教育庁社会教育課長 佐藤利三郎  
相馬民謡同好会師範・同副会長 桃井可生  
福島県海浜青年の家 職員 員

### (4) 提 言 者

亀宗植田店 小野綾子  
相馬スミダKK 湊由美  
原町市雲雀ヶ丘病院 古小高弘美

### (5) 研修内容

- ① 講 話 「新就職者に期待するもの」
- ② 講 義 「青年活動と社会参加」
- ③ 討 義 「自信を持ってスタートするために」
- ④ 実 技 「交歓のつどい」 「相馬民謡と踊り」  
「オリエンテーリング」  
「キャンドルサービス」

## 8 中学生就職者のつどい

### (1) 趣 旨

今年度中学校を卒業し、就職を予定している生徒を対象に、共同宿泊研修を通して社会人、職業人としての自覚と誇りを持たせるとともに相互の交歓を図り、社会参加への意欲を高めることをねらいとする。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和53年3月15日～17日 2泊3日